

契約当事者市町別の相談件数

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）

市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比	市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比
津市	434	496	-62	87.5%	朝日町	28	22	6	127.3%
四日市市	210	239	-29	87.9%	川越町	28	30	-2	93.3%
伊勢市	94	135	-41	69.6%	多気町	31	41	-10	75.6%
松阪市	183	211	-28	86.7%	明和町	47	61	-14	77.0%
桑名市	129	150	-21	86.0%	大台町	17	25	-8	68.0%
鈴鹿市	159	174	-15	91.4%	玉城町	27	44	-17	61.4%
名張市	82	115	-33	71.3%	度会町	15	8	7	187.5%
尾鷲市	24	27	-3	88.9%	大紀町	14	14	0	100.0%
亀山市	50	71	-21	70.4%	南伊勢町	22	18	4	122.2%
鳥羽市	17	20	-3	85.0%	紀北町	29	23	6	126.1%
熊野市	32	28	4	114.3%	御浜町	7	11	-4	63.6%
いなべ市	48	65	-17	73.8%	紀宝町	25	15	10	166.7%
志摩市	64	56	8	114.3%					
伊賀市	91	125	-34	72.8%	県内不明	59	33	26	178.8%
木曾岬町	24	14	10	171.4%	県外・不明	89	103	-14	86.4%
東員町	36	50	-14	72.0%					
菰野町	65	63	2	103.2%	合計	2,180	2,487	-307	87.7%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。